

教育の主体としての取組

地域連携カリキュラムの作成

地域を生かす

地域に還す

	学年						①地域を生かす	②地域を学ぶ	③地域に還す	④地域と学ぶ	教科等	単元・主題等名	通称名	概要
	1	2	3	4	5	6								
1	○						○			生活	むかしのあそびをしよう		地域のお年寄りや触れあい、一緒に遊ぶ活動を通して、伝承遊びの楽しさや遊びのコツに気付いたり、遊び方を工夫したりすることができる。	
2	○						○	○		生活	保育園児と仲良くなろう		保育園児たちを招待し、教え方を工夫したり、道具を改良したりして、遊びを教えて昔のおもちゃで一緒に遊ぶことができる。	
3	○						○		○	生活	じぶんのしごとをみつけよう		家族の仕事を調べたり、家の仕事を練習したりする活動を通して、自分なりにできる仕事を考え、実践することができる。	
4		○					○			生活	夏野菜をそだてよう		身近な夏野菜に関心をもち、ゲストティーチャーに世話の仕方を教わりながら大切に育てることを通して、生命があることや成長することに気付き、植物に愛着をもつことができる。	
5		○					○			生活	どきどきわくわく町探検		身近な地域の人々や地域の施設などの関わりを通して、地域に親しみをもち、人々と適切に接したり、安全に気をつけて生活したりすることができる。	
6		○					○		○	生活	大根パーティー		ゲストティーチャーに世話の仕方を教わり、収穫を楽しみながら大切に育てることを通して、生命があることや成長することに気付き、植物に愛着をもつことができる。	
7		○					○		○	生活	明日ヘジャンプ		自分自身の成長に関心をもち、おうちの人に成長の様子や思いを伝えてもらうことを通して、成長を支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、その気持ちを伝えるとともに、自分自身の正答に願いをもちながら生活することができる。	
8			○				○			社会	わたしたちのまちのようす		自分の家のまわりの様子に違いがあることに関心をもち、地域の土地利用の様子は、場所によって使われ方に違いがあることをとらえることができる。	
9			○				○		○	学活	気持ちのよいあいさつをしよう		地域の人との関わりを通して、あいさつをすることがお互いに気持ちよく感じさせ、相手のことを考えながら元気よくあいさつすることができる。	
10			○				○			総合	ちいき名人になろう		地域の方と交流をすることで自分の住んでいる地域に関心をもち、本や資料から調べたり、他の人に聞いたりして、見方や考え方を広げることができる。	
11				○			○			総合	共に生きる		障害のある方の生活の様子をアイマスク体験や車いす体験などで実際に体験することで実感し、様々な人と共に生きるために、自分にできることを考え、実践することができる。	
12				○			○			社会	わたしたちのくらしとごみ		春日市のごみの収集や処理に関心をもち、実際に見学したり資料で調べたりすることを通して、春日市の一員であることに自覚をもち、ごみの減量化に取り組むこと地域をつくっていくことを考えることができる。	

地域を学ぶ

地域と学ぶ

S小学校の地域連携カリキュラムの一部

春日市の概要

CSを基盤とした
学力向上の考え方

子育ての主体
としての取組

地域づくりの主体
としての取組

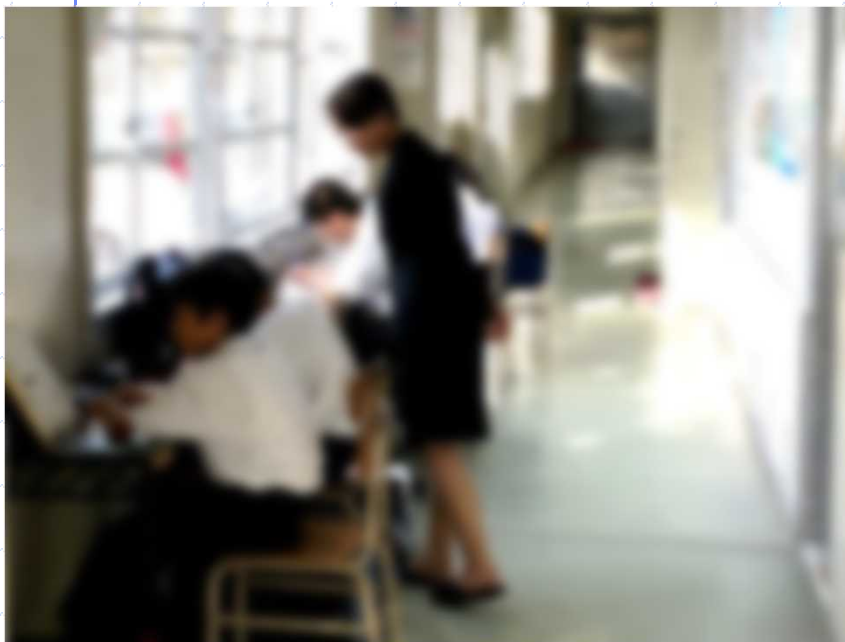
教育の主体
としての取組

教育委員
会の支援

取組の
成果

教育の主体としての取組

各学校独自の取組



放課後自主学習（大学生ボラ）の様子

放課後自主学習（全中）

チャレンジ検定（小）

全職員による補充学習（小）

春日市の概要

CSを基盤とした
学力向上の考え方

子育ての主体
としての取組

地域づくりの主体
としての取組

教育の主体
としての取組

教育委員
会の支援

取組の
成果

教育委員会による学力向上の支援

具体的学習支援

小学校放課後補充学習「まなびや春日」

「わくわく進級テスト」の導入

「知のチャレンジKASUGA」の実施

教育委員会による学力向上の支援

具体的学習支援

小学校放課後補充学習「まなびや春日」



- 小学3年生対象
- 平日の放課後
(4～6年の6校時)
- 教育相談員が主務者

教育委員会による学力向上の支援

具体的学習支援

「わくわく進級テスト」

2019年 わくわく進級テスト(後期)	3年組番	名前	/100点
------------------------	------	----	-------

1 □にあてはまる数を書きましょう。 大きな数4点×4

(1) 10000を24こ集めた数は□です。

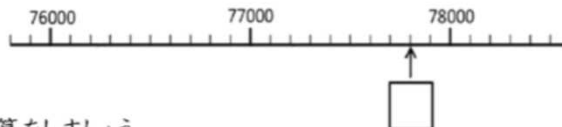
 (1)

(2) 47000は1000を□こ集めた数です。

 (2)

(3) 三百五万二千十五を数字で書くと □になります。

 (3)

(4) 

 (4)

2 計算をしましょう。 あまりのあるわりざん4点×3

(1) $22 \div 5$

 (1) あまり

(2) $48 \div 7$

 (2) あまり

- 小学3・4年生対象
- 年2回実施
(9月・2月)
- 算数の定着度を測る

教育委員会による学力向上の支援

具体的学習支援

「知のチャレンジKASUGA」



- 小学5・6年生対象
- 国語・算数の難問
- 保護者・地域の方も参加

春日市の概要

CSを基盤とした
学力向上の考え方

子育ての主体
としての取組

地域づくりの主体
としての取組

教育の主体
としての取組

教育委員
会の支援

取組の
成果

教育委員会による学力向上の支援

教育条件・環境の整備

小学校6年生 30人以下学級編成の導入

事務作業・研修等の簡素化

人的支援

中学校ブロックへのスクールカウンセラー

スクールソーシャルワーカーの配置

不登校専任教員（中）、教育相談員（小）配置

春日市の取組成果

学校・家庭・地域の三者による学力向上の共育による効果

① 学習機会や場の広がりを見せている

② 教員以外の指導者の多様な広がり

③ 教師の負担軽減につながっている

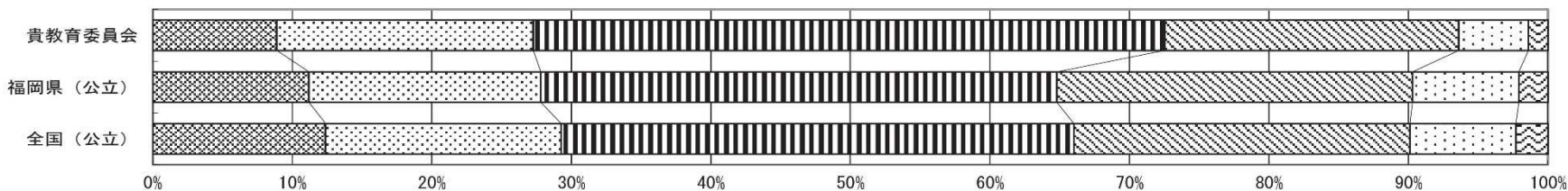
春日市の取組成果

質問18 「学校以外での学習時間」

小学校

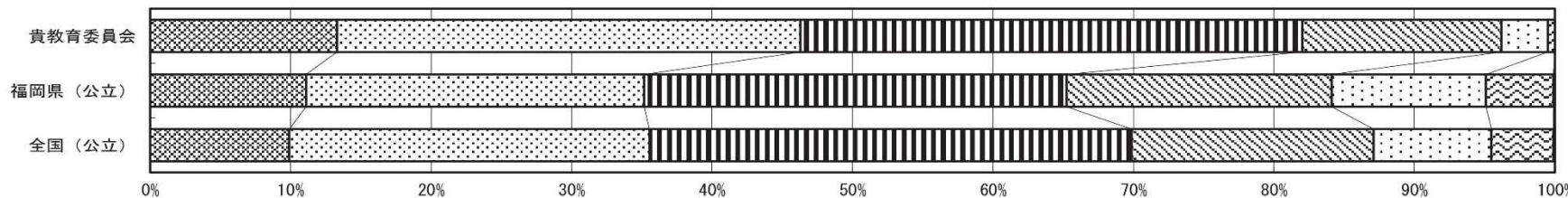
令和元年度全国学力学習状況調査小学校・児童質問紙より

- 1. 3時間以上
- 2. 2時間以上, 3時間より少ない
- 3. 1時間以上, 2時間より少ない
- 4. 30分以上, 1時間より少ない
- 5. 30分より少ない
- 6. 全くしない
- その他
- 無回答



中学校

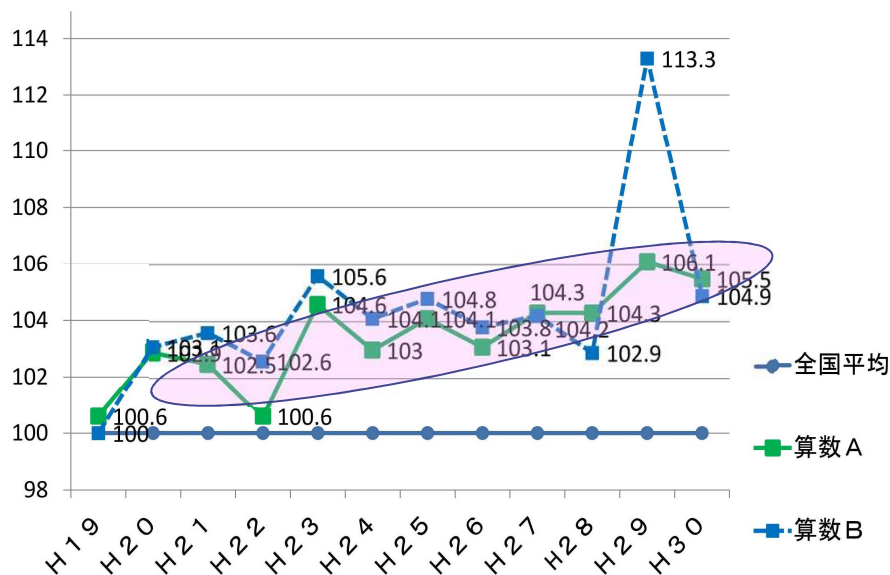
- 1. 3時間以上
- 4. 30分以上, 1時間より少ない
- 2. 2時間以上, 3時間より少ない
- 5. 30分より少ない
- 3. 1時間以上, 2時間より少ない
- 6. 全くしない
- その他
- 無回答



家庭での学習習慣の定着

春日市の取組成果

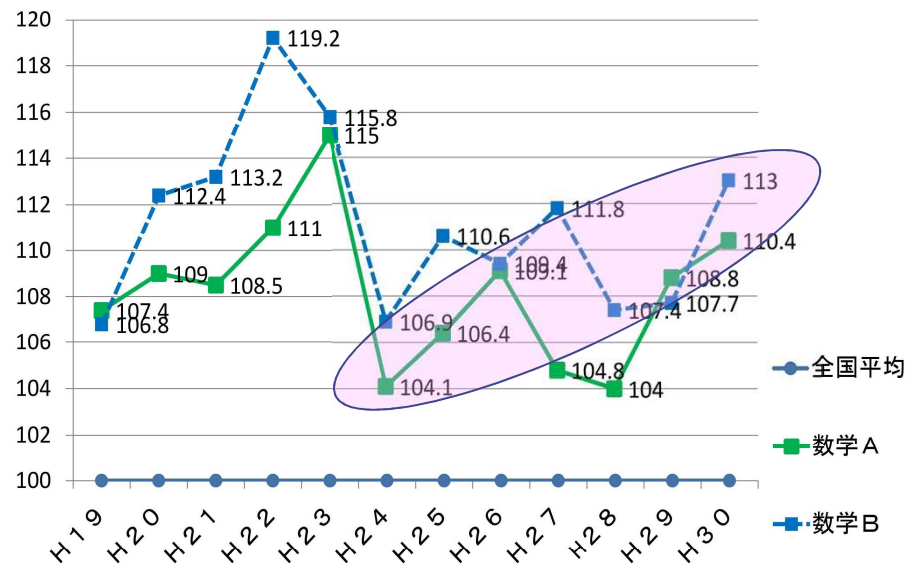
全国学テ 算数A・B (H19~H30)



※ 全国平均を100とする ※ H23は県平均を100とする

小学校算数の結果の推移

全国学テ 数学A・B (H19~H30)



※ 全国平均を100とする ※ H23は県平均を100とする

中学校数学の結果の推移